

(単元) ゴール型(バスケットボール)

(本時のねらい)

- (1) 練習ゲームの内容を動画を用いて振り返ることで課題を発見し, 課題解決に有効な練習方法について考えることができるようにする。(思考・判断)
- (2) パスゲームを用い, 状況に応じたボール操作とスペースを活用する動きができるようにする。(運動の技能)

(ICT活用方法)

イメージすることが難しい自分の動きを, 壁面やパッドを通して確認することで, より正確なフィードバックの一助とする。自分のイメージと現実のギャップを埋めることで, 自ら課題に気づくことができる。自分たちの課題を積極的に探す意欲的な取組が期待される。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体的評価規準	評価
導入 (5分)	・準備運動 ・整列・挨拶・ 出欠の確認・健康の観察 ・本時の学習内容の確認	・元気よく声を出し, 準備運動をさせる。 ・体調の確認をする。 安全に授業ができるよう指導する(爪・時計等)。 ・話を聞く姿勢を整えさせる。		
展開 (30分)	・試しのゲームの振り返り(10分) 各グループでの話し合い  ・アウトナンバーのパスゲーム(10分) ①3-1 ②2-1	・動画を見せて, 自分たちで課題に気づくように発問する。また, 解決方法が見つけられるようヒントを出す。  ・状況に応じたボール操作とスペースを活用する動きができるよう声かけをする。	・自らの課題を積極的に探し, 課題の解決方法について考えることができる。(思考・判断)	活動の観察

	③ 3-2 ・ゲーム (10分) ① A-B, C-D ② A-C, B-D	・練習の内容を生かし、スペースを活用したパスワークを意識するよう声かけをする。 ・振り返りに活用する動画を撮影する。 ・プレイヤー同士での審判となるため、ラフなプレイをさせないよう声をかける。	・状況に応じたボール操作とスペースを活用する動きがチームとしてできる。(運動の技能)	活動の観察及び動画の撮影
まとめ (10分)	・本時のまとめ ・整理運動 ・怪我の確認 ・次時の確認 ・あいさつ ・後片付け	・動画をもとに振り返り、次時への意欲を湧かせる。 ・足首・指の怪我の有無の確認を必ず行う。 ・体育委員を中心に後片付けをさせる。		

(授業の様子)



課題のチェック



動きのチェック

(生徒の反応)

自分の動きとイメージのずれに驚きながらも、何が自分たちのチームに足りないかしっかりと考えることができた。自分たちを鳥瞰的に見ることは、想像力を刺激する。言葉では、伝えづらい内容もデジタルネイティブ世代には絶大な効果を発揮するようだ。今後、一流のプレイヤーの動きやレベルの高いフォーメーションを見せることで、課題解決の糸口を見出すことができそうだ。また個人スキルのレベルアップにも効果が期待できる。